

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名:MP-3197 黒

会社名:株式会社ツキネコ

住所:東京都千代田区外神田 5-1-5 末広 JFビル5F

電話番号:03-3834-1080 FAX 番号:03-3834-1050

担当部門:開発部

ファイル No.:MP313

2. 危険有害性の要約

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	:区分4
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	:区分5
	皮膚腐食性/刺激性	:区分3
	眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分1
	発がん性	:区分2

(注)物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関して、上記以外の項目は現時点では「分類対象外」「分類できない」または「区分外」である。

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

可燃性液体
飲み込むと有害のおそれ
軽度の皮膚刺激
重篤な眼の損傷
発がんのおそれの疑い

注意書き:

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
炎及び高温のものから遠ざけること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

呼吸用保護具を着用すること。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

【救急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。
 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合は水で数分間、注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
 皮膚に付着した場合は多量の水と石鹼で洗うこと。
 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 ばく露又はその懸念がある場合は医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合は気分が悪い時、医師の診断、手当てを受けること。
 口をすすぐこと。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国／地域情報

国内法で規定のある場合、並びに、地域で規定のある場合はその規定に従ってください。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法	PRTR法	労安衛法
カーボンブラック	5.0-10	1333-86-4	—	該当せず	該当
合成樹脂	20-30	登録済み	登録済み	該当せず	該当せず
アルコール類	10-20	登録済み	登録済み	該当せず	該当せず
グリコールエーテル類	40-50	登録済み	登録済み	該当せず	該当せず

4. 応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気の場合に移動させ、必要に応じて医師の診断を受ける。

MP313

皮膚に付着した場合：	直ちにすべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。 多量の水及び石鹼で洗い流し、症状がでた場合等、必要に応じて医師の診断を受ける。 脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。
眼に入った場合：	コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。 水で数分間、注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。
予想される急性症状及び 遅発性症状：	データなし
最も重要な兆候及び症状：	データなし
応急措置をする者の保護：	データなし
医師に対する特別注意事項：	データなし

5. 火災時の措置

消火剤：	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってならない消火剤：	棒状注水、水噴霧
特有の危険有害性：	熱、火花及び火災で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に刺激性・腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消化方法：	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護：	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	全ての着火源を取り除く。 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する。
環境に対する注意事項：	環境中に放出してはならない。
回収、中和：	不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品遺棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材： 危険でなければ漏れを止める。

二次災害防止策： すべての発火点を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設置対策を行い、保護具を着用すること。

局所排気・全体換気： 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
液の漏洩や蒸気の発散を極力防止する。

安全取扱い注意事項： 取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
ヒューム、ミスト、蒸気の吸入を避けること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
飲み込まないこと。
眼に入れないこと。
皮膚との接触を避けること。

接触回避： 『10. 安定性及び反応性』を参照

【保管】

技術的対策： 消防法の規制に従う。

混触危険物質： 『10. 安定性及び反応性』を参照

保管条件： 強酸化物から離しておくこと。
容器は密栓して換気の良い場所で保管すること。

容器包装材料： データなし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 未設定

許容濃度： 未設定

設備対策： この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。

保護眼鏡： 適切な眼の保護具を着用すること。

保護手袋： 適切な保護手袋を着用すること。

保護衣： 適切な保護衣を着用すること。

衛生対策: 取り扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

形状: 液体
色: 黒
臭い: わずかな特異臭
沸点: 161℃以上
融点: 未測定
引火点: 64.5℃以上(密閉式・タグ)
発火点: 239℃以上
爆発限界: 未測定
蒸気圧: 未測定
蒸気密度: 未測定
溶解性: アルコール系溶剤に易溶

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の実用において安定
反応性: なし
危険有害反応可能性: 強酸化剤と反応する。
避けるべき条件: 燃焼
混触危険物質: 強酸化剤
危険有害な分解生成物: 一酸化炭素を含む有毒ガス

11. 有害性情報

急性毒性: 経口 ラットLD₅₀ 2451mg/kg(区分5)
皮膚腐食性/刺激性: 軽度の皮膚刺激(区分3)
眼に対する重篤な損傷/刺激性: 重篤な眼の損傷(区分1)
発がん性: 発がんのおそれの疑い(区分2、カーボンブラック)

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性: データなし
水生環境慢性有害性: データなし

13. 廃棄上の注意

許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。容器は内容物をできるだけ回収した上、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国内規制:消防法 危険物第4類第2石油類に準ずる

国連分類:該当しない

15. 適用法令

消防法: 危険物第4類第2石油類

労働安全衛生法: 危険物・引火性のもの

名称等を表示すべき危険物及び有害物にカーボンブラック

名称等を通知すべき危険物及び有害物にカーボンブラック

PRTR法: 該当せず

16. その他の情報

記載内容の取扱い: 本記載の内容は現時点で弊社が入手した情報などに基づき作成されたものであり、新しい知見に基づき改訂されることがあります。また、注意事項は通常を取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、御利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。